

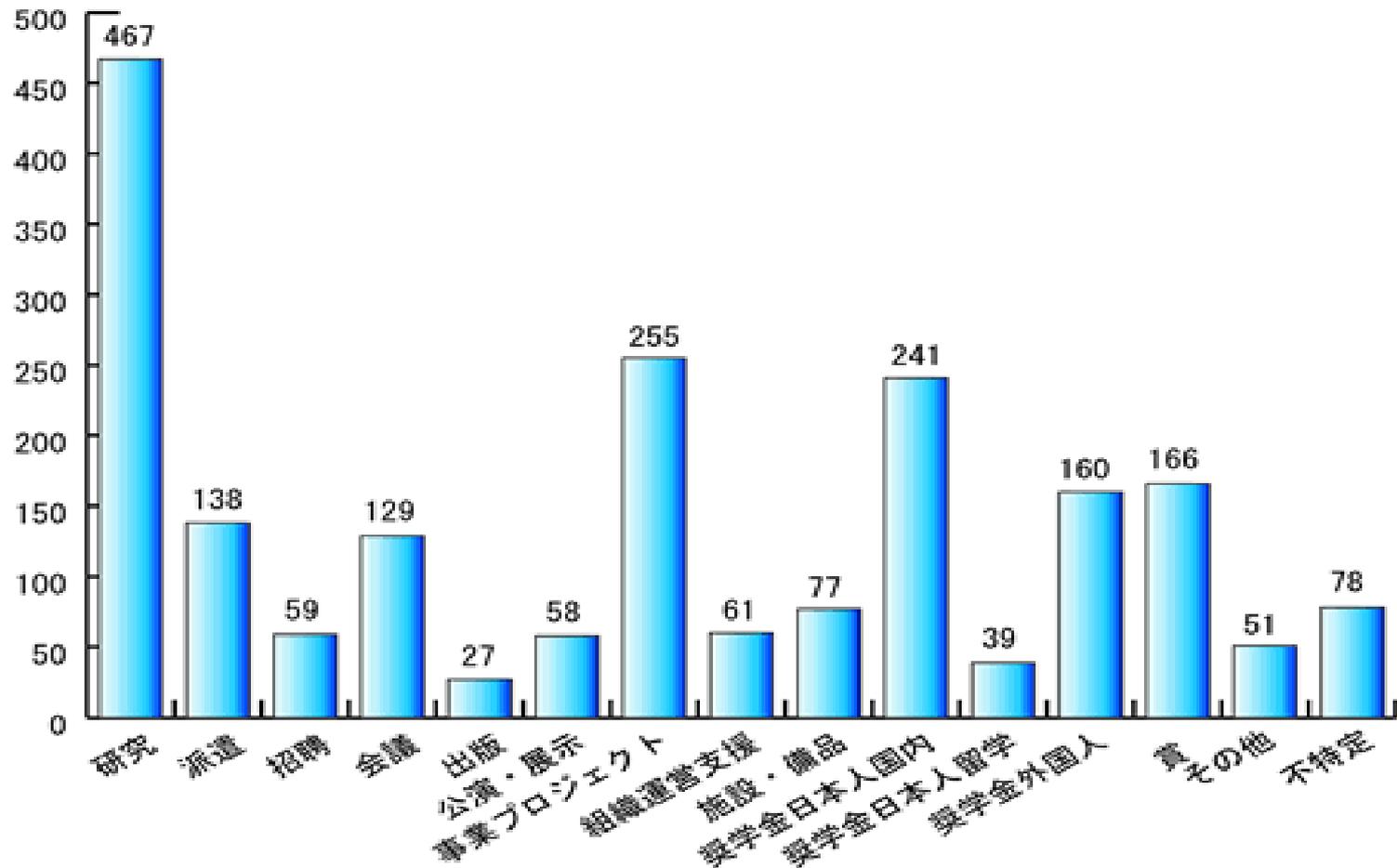
財団とは、私的利益を追求するためにある組織ではなく、社会的利益に貢献するための組織である。そして現代社会における財団は、急速で、しかも大規模な社会的変化によってひき起される諸問題を、根本的に解決することがその役割である。

そのためには幾多の試行錯誤を行ないつつ、必要な諸条件を自ら見つけだし、かつそれをつくりあげてゆくことが必要である。すなわち、財団は、政府にくらべれば、問題解決のために注ぎこめる資金は少ないが、失敗ができること、がその大きな特徴である。その結果、問題解決の端緒が財団によって開かれればその後は、資金を桁違いに多く持っている政府にバトンを渡すことができる。また一方、財団は政府がまだ関心を示していないことや、関心はあっても力関係のためにやりにくいことなどで、社会的には重要なことを支援しつつ、絶えず先験的な歩みを続けていくものである。それは、社会が常に生き生きとして健康な生気を持ちつづけてゆけるようにするためである。

すなわち、財団とは、社会がその未来のためにそなえている触媒であり、また、その健康さと多様性を促進するように機能する存在である。しかも重要なことは、財団は自ら脚光を浴びることを望むべきではなく、常に縁の下の力持ちの立場に徹しなければならないということである。

[トヨタ財団 昭和 50 年度年次報告 林雄二郎「試行錯誤第1年」より]

民間助成財団の事業形態別プログラム数



研究助成 ビッグセブン

財団名称	出捐企業	助成金額	財産
武田科学振興財団	武田薬品	23.8 億	770 億
上原記念生命科学財団	大正製薬	10.3 億	910 億
平和中島財団	中島 HD	6.4 億	289 億
住友財団	住友 G20 社	4.6 億	218 億
旭硝子財団	旭硝子	3.8 億	279 億
内藤記念科学振興財団	エーザイ	3.7 億	174 億
三菱財団	三菱 G43 社	3.7 億	199 億